

つながりサポート事業【大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」】

地域の実情と課題

令和2年度の女性相談への相談件数は、これまでで最も多かった令和元年度の相談件数の1.67倍で過去最多となった。また、相談件数のうち、DVに関する相談は全体の3割を超えた。日常的に困難な状況にありながら相談につながっていない女性がまだまだ数多く存在すると考えられる。令和3年度の本事業の取り組みにより連携が開始したフードバンクや子ども食堂の運営団体の連携を強化しながら、さらに事業の周知を図る必要がある。

事業の特徴

特に若年層の女性に対し、自身の体を大切にすることやパートナーとの対等な関係づくり、必要な社会資源と繋がることの大切さについて啓発することができる。

事業の効果

- ・不安や困難を抱えながら支援につながっていない女性が必要な支援へとつながる。
- ・委託する団体の主体的な活動が活発化し女性支援の必要性について市民への啓発や理解促進が図られる。
- ・ピアサポートの実施回数(アウトプット)目標値:96回

目的・目標

不安や困難を抱える女性の居場所づくりやピアサポート場の提供などの事業を民間団体へ委託、誰にも相談することができず孤立している人を、相談機関や関係団体の支援につなげる。生理用品等の入手が困難な女性や女の子に対し、生理用品を提供する機会をすることで、困りごとやその背景に寄り添い、必要な支援へとつなげる。

- ①DVの相談窓口を知っている人の割合
現状54.4%→目標値60.0%
- ②ピアサポートの場を利用した女性の延べ人数(アウトプット)
R3年度実績 659人

連携団体

大村市母子寡婦福祉連合会、NPO法人、ボランティア団体、女性団体、地域活動団体(民生児童委員連合会、町内会長会、老人クラブ連合会等)、子ども食堂、不登校支援団体、ハローワーク、大村市社会福祉協議会、市関係課、等

今後の課題

令和3年度の本事業で居場所を利用する女性の相談内容は複雑なケースも多かったため、専門の相談員が対応するよう支援体制の強化を図り、各支援窓口へ同行するなどして利用者を必要な支援に確実につなげる。

事業の概要

● つながりサポート事業について

【事業の目的】

不安や困難を抱える女性の居場所づくりやピアサポート場の提供などの事業を民間団体へ委託することで、誰にも相談することができず孤立している人を、相談機関や関係団体の支援につなげる。

【事業の概要】

- ・女性が気軽に立ち寄り、相談したりすることができる居場所の提供
- ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートの開催
- ・生理用品の提供を通して、女性の背景に寄り添いながら、相談機関や関係団体の情報を提供し、支援につなげる。
- ・SNS等を通して、つながりサポート事業(ピアサポートや生理用品の提供や相談機関等)について周知する。

【R4年度からの新たな取り組み】

- ・複雑困難な相談内容に専門の相談員が対応し、他の行政機関やNPO等関係団体の支援窓口へ同行するなどの連携して支援につなげる。
- ・フードバンクや子ども食堂の運営団体等と連携し、その場で事業の周知や相談会、ワークショップを実施する定期イベント「つながりマルシェ」を開催する。

大村市男女共同参画推進センター

《つながりサポート事業イメージ》

